

「河川技術・流域管理分野 指定課題」 (令和2年度採択)

事後評価結果

研究テーマ名	研究代表者	評価
一連河道区間と局所的弱点箇所 の 2 重スケール評価による低水護岸・高水敷系侵食被災リスク評価技術の開発	名古屋大学 戸田 祐嗣	A
<p><研究概要></p> <p>本研究では、一連河道区間と局所的弱点箇所 の 2 重スケール評価による低水護岸・高水敷系侵食被災リスク評価技術を開発した。この目的を達するため、サブテーマ (ST) 1 「現況横断面と安定河道断面の比較による一連河道区間の侵食被災ポテンシャル評価」、ST2 「水理解析に基づく局所的侵食弱点箇所の抽出手法と対策技術の開発」、ST3 「被災事例分析に基づく低水護岸・高水敷系としての侵食リスク評価技術開発」 および ST4 「上記成果を統合した一連区間および局所的弱点箇所 の 2 重スケールでの低水護岸・高水敷系侵食リスク評価」 の研究技術開発を実施した。</p>		
<p><事後評価指摘事項></p> <p>A評価のためコメントなし</p>		

※ 評価基準

A : 研究目的は達成され、十分な研究成果があった。

B : 一定の研究成果があった。

C : 研究成果があったとは言い難い。